受領　令和８年９月 29 日 11 時 00 分	通告番号 (13) 1/2

令和８年９月 29 日

読谷村議会
議長　比 嘉 幸 雄　殿

読谷村議会議員
城 間 真 弓　印

一 般 質 問 通 告 書

第 555 回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第 61 条第２項の規定により通告いたします。

質　問　要　旨	答弁を求める者
１　住民の声が届く、住民主体（住民自治）の村づくりについて。 （１）2022年の村議会選挙の投票率と今回の村議会選挙の投票率。 （２）今回の投票率の結果を、村としてどのように分析・検証しているのか。 （３）住民が主体的に村づくりに参加するため、今後どのような取り組みが必要だと考えているか。 （４）役場では「ご意見」「要望」「苦情」「クレーム」をどのように定義・区別しているのか。また、その判断基準は職員間で共通認識はあるのか。 （５）現在、窓口で職員から受けた言葉や態度によって傷ついた住民が相談できるような窓口はあるか。	
２　ゆんラボ未来館の PFI 事業における利用状況と財政負担、収益事業の進捗について。 （１）本村の図書館を運営しているカルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社（CCC）と年間で契約している想定来客数と、現時点での来客数は。 （２）６月議会の補正予算で、予定の入館数を超えた場合の超過分を事業者への支払いが発生していたが、その契約内容を村民にもわかりやすく説明を求める。 （３）当初想定していた年間の支払い額と、実際の支払い額にどの程度差が生じているのか。	

質　問　要　旨	答弁を求める者
（４）去年の10月に同時オープンする予定だった収益施設の進捗状況と、開業予定時期に変更はないか。 （５）収益施設の整備・稼働の遅れによるPFI事業の収支への影響と、当初計画していた賃料収入等の収益を年間どの程度見込んでいたのか。	
３　村独自の「読谷村こどもの権利条例」の制定への取り組みと、本村の子育て支援策について。 （１）村長の公約でもある18歳までの医療費無償化実現に向けての進捗状況とは。 （２）県は9月末に「フリースクール等に通う児童・生徒等の実態把握調査」を実施するとのことですが、今回県政の体制が変わった後も、この調査は継続し実施されるのか。また、県の動きとは別に村独自の実態調査についての考えは。 （３）働き世代や子育て世代にとって平日や開庁時間内に来庁するのが難しい方に対して、今年度から休日や時間外の窓口対応を実施したとあるが、具体的にどのような手続きを休日に行えるようにしたのか。 （４）「沖縄県子どもの権利条例」は今年の7月31日に交付・施行されましたが、村独自の「読谷村こどもの権利条例」制定の必要性について改めて認識を問う。	
４　国民健康保険料の大幅な引き上げによる村民への影響と現状について。 （１）今年の７月から国保の引き上げや、「子ども・子育て支援金」が加算され村民の負担はかなり厳しいものなっている。現時点での国民健康保険税の滞納世帯数は。 （２）現在の国民健康保険の加入者数と、村民全体に占める割合について。	